

あなたに出逢って はじめて生きたいと思った



私たちの
幸せな
時間

死刑を考える日

韓国はいかにして事実上の
死刑廃止国となったか



日時 2013年
2月9日(土)
12時30分開場
13時00分～16時45分

会場 岡山弁護士会2階

岡山市北区南方1-8-29
(柳川交差点から北へ直進、裁判所北側)
※会場に駐車場はありません。近隣の有料駐車場
あるいは公共交通機関をご利用下さい。

参加対象：どなたでもご参加いただけます。

プログラム

参加無料

①基調講演

「韓国において事実上死刑が廃止された経緯について」
弁護士 張 界 満 氏

②特別講演

「韓国における犯罪報道の現状、死刑が事実上廃止されたことについての市民の受け止め方～韓国に記者として滞在した立場から」
共同通信社 佐 藤 大 介 氏

③映画「私たちの幸せな時間」の上映

提供：アミューズソフトエンタテイメント、フィールズピクチャーズ
(C) 2006 Bear entertainment co.,ltd. (C) Prime entertainment co.,ltd. All rights reserved.

昨年、3月29日、1年8か月ぶりに死刑が執行されたのに続き、8月3日、9月27日と死刑が執行されました。その一方で死刑に関する情報はほとんど公開されていません。

日本弁護士連合会は一昨年10月に行われた第54回人権擁護大会において、死刑廃止についての全社会的議論をよびかける宣言を選択しました。

そもそも死刑とはどのような刑罰か、できるだけ多くの方々とともに改めて考える機会をもつため、「死刑を考える日」を開催することとしました。

死刑と人間愛をテーマに描かれた感動作「私たちの幸せな時間」(ソン・ヘソン監督/2006年・韓国)を上映します。この映画では、韓国の実際の拘置所が使用されており、死刑確定者の日常生活、刑務官の苦悩等がリアルに描かれています。

韓国では1997年12月30日に死刑が執行されて以降、今日まで死刑が執行されていません。事実上死刑が廃止に至った経緯について張界満弁護士、佐藤大介記者をお招きして一緒に学びたいと思います。

主催：岡山弁護士会 TEL.(086)223-4401
<http://www.okaben.or.jp/>

中国地方弁護士会連合会

張 界満 弁護士 プロフィール

(チャン ゲマン)

1968年生まれ

神戸大学法学部卒業・2000年弁護士登録
(第二東京弁護士会所属)

【主な活動】

日弁連死刑廃止検討委員会
日弁連人権擁護委員会日韓弁護士会戦後処理問題
共同行動特別部会
韓日会談外交文書全面公開請求訴訟弁護団
原発を問う民衆法廷(アミカスキュリエ)

【主な著作】

裁判の中の在日コリアン(共著,現代人文社,2008年)
Q&A新韓国家族法(共著,日本加除出版,2010年)
韓国憲法裁判所・重要判例44(共著,日本加除出版,2011年)

佐藤大介氏 プロフィール

(さとう だいすけ)

1972年、北海道生まれ

明治学院大学法学部卒業後、
毎日新聞社入社 長野支局、社会部に勤務
2002年に共同通信社入社

高松支局を経て、2006年、外信部配属
2007年、韓国延世大学に社名留学
2009年3月～2011年末までソウル特派員
2012年春より、調査報道を担当する特別報道室に所属
最近は原発問題、死刑問題などを取材

【主な著作】

『観光コースでないソウル』(高文研)
『オーディション社会韓国』(新潮新書)
『徹底検証 韓国論の通説・俗説 日韓対立の感情vs.論理』
(中公新書ラクレ、共著)

〈上映映画紹介〉

私たちの 幸せな間

死刑囚の男と自殺願望の女

人生の果てに訪れた、

最後の“幸せな時間”

3人を殺した死刑囚ユンス(カン・ドンウォン)と3回自殺未遂をした元歌手ユジョン(イ・ナヨン)。出会うはずのなかった二人が毎週木曜日に拘置所の面会室で向き合うことになった。人生に絶望し孤独を抱えた彼らがお互いの言葉に心を開き、耳を傾けてくれるかけがえのない相手に出会った。二人は初めて人生と愛に対して希望をもつようになる。ようやくめぐりあえた幸せ。毎日が木曜日であってほしい…。叶うはずもない願いで胸がいっぱいになったころ、二人に許された時間はあとわずかだった…。

CAST

ユンス:カン・ドンウォン

ユジョン:イ・ナヨン

STAFF

監督:ソン・ヘソン

プロデューサー:キム・サングン

原作:コン・ジョン

撮影:カン・スンギ

編集:パク・コッチ

音楽:イ・ジェジン

